

第1章 古代～中世ヨーロッパ

テーマ1 古代ローマ

【共和政ローマ】

共和政ローマの成立（前 509）

- ↓
- ① イタリア人の一派のラテン人がローマ建国（前 8 C） ← ティベリ河畔
 - ② エトルリア人（民族系統不明）の王を追放（前 509） ⇒ 共和政に移行
- 貴族〔パトリキ〕と平民〔プレブス〕の身分闘争
- ③ 聖山事件（前 494）：平民の反乱 ⇒ 元老院の決定に拒否権をもつ護民官 & 平民会を設置
 - ④ 十二表法（前 450）：貴族間のみで共有していた慣習法の成文化 ⇒ 貴族による法の独占を打破
 - ⑤ リキニウス・セクステウス法（前 367）：コンスル〔執政官〕の 1 名を平民から選出
 - ⑥ ホルテンシウス法（前 287）：平民会に立法権 ⇒ 貴族と平民の法的平等が実現
- ↓

イタリア半島の統一（前 272）：ギリシア人植民市タレントゥム陥落 ⇒ 分割統治

↓

ポエニ戦争（前 264～前 146）：vs カルタゴ（フェニキア人国家）

- ① 第1回（前 264～前 241）：シチリア島争奪戦 ⇒ ローマがシチリア島占領（⇒ 初の属州）
 - ② 第2回（前 218～前 201）：カンネーの戦い（カルタゴ勝利） ⇒ ザマの戦い（ローマ勝利）
 - ③ 第3回（前 149～前 146）：カルタゴ滅亡 ⇒ ローマが地中海全体の覇権
 - ④ 結果 ラティフンディアの発達 & 安価な穀物流入 ⇒ 中小農民没落（⇒ 重装歩兵部隊の弱体化）
- ↓